

第4節 船卸関係手続

システムを使用して外国貨物の船卸しに係る手続を行う場合は、この節の定めるところによる。

1 船卸確認の登録

CY扱いの外国貨物をCY又は岸壁等へ船卸しした場合は、「船卸確認登録（個別）」業務（業務コード：PKK）又は「船卸確認登録（一括）」業務（業務コード：PKI）を利用して、船卸確認に係る情報をシステムに登録する。

CY扱いでない場合又はコンテナオペレーション会社がシステム不参加の場合は登録を要しない。

また、本業務の登録に併せて卸コンテナリストの提出を行う旨の入力を行うことができる。

船卸確認の登録は、「船卸確認登録（個別）」業務（業務コード：PKK）の実施の有無に関わらず、「船卸確認登録（一括）」業務（業務コード：PKI）を実施する必要があるが、事故貨物があった場合については、当該事故貨物について「船卸確認登録（個別）」業務（業務コード：PKK）を利用して実施する必要がある。

2 船卸確認の登録方法

(1) 船卸確認の登録方法

「船卸確認登録（個別）」業務（業務コード：PKK）は、コンテナ貨物の場合はコンテナ番号単位に、在来貨物の場合はB/L番号単位に、船卸しした旨を登録し、「船卸確認登録（一括）」業務（業務コード：PKI）は、船会社単位に全ての船卸しが完了した旨を登録する。

イ 「船卸確認登録（個別）」業務（業務コード：PKK）を利用した登録方法

「船卸確認登録（個別）」業務（業務コード：PKK）を利用して次の事項を入力し送信する。

[1] 船卸開始年月日（「開始日時＊」欄左）

船卸開始年月日を西暦（8桁）で必須入力する。

[2] 船卸開始時刻（「開始日時＊」欄右）

船卸開始時刻を24時間制（4桁）で入力する。

[3] 船卸終了年月日（「終了日時＊」欄左）

船卸終了年月日を西暦（8桁）で必須入力する。

[4] 船卸終了時刻（「終了日時＊」欄右）

船卸終了時刻を24時間制（4桁）で入力する。

[5] 船舶コード（「船舶＊」欄）

積荷目録情報に登録されている船舶コードを必須入力する。

[6] 船卸港コード（「船卸港＊」欄左）

船卸港を国連LOCODE（「業務コード集」参照）で必須入力する。

[7] 船卸港枝番（「船卸港＊」欄右）

同一航海で同一の港に複数回寄港する場合は、積荷目録情報に登録されている船卸港枝番を入力する。

なお、寄港回数に対応する枝番と異なる枝番を入力することがないように留意するこ

と。

[8] 船卸場所コード（「船卸場所」欄）

CYに船卸しする場合又はふ中扱い承認を受けた貨物をはしけに船卸しする場合は、貨物の船卸場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

「バース」欄を入力しない場合は、必須入力する。

[9] バースコード（「バース」欄）

バースに船卸しする場合は、バースコード（「業務コード集」参照）を入力する。

「船卸場所」欄を入力しなかった場合は、必須入力する。

[10] 卸コンテナ情報登録併せ表示（「卸コン併せ表示*」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
卸コンテナリストの提出を併せて行う場合	Y
卸コンテナリストの提出を併せて行わない場合	N

[11] 時間外執務要請識別（「時間外執務要請識別」欄）

「卸コン併せ表示*」欄に「Y」を入力した場合は、次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
時間外執務要請届が届出済みの場合	A
時間外執務要請届の提出を併せて行う場合 （1業務で複数のコンテナ管理者分の入力を行う 場合は、複数届出となる）	B

※以下 [12] から [15] までの項目は、最大 100 欄まで繰り返し入力することができる。

[12] コンテナ番号（「コンテナ番号」欄）

コンテナ貨物又は空コンテナの場合は、コンテナ番号を必須入力する。

[13] B/L番号（「B/L番号」欄）

在来貨物の場合は、B/L番号を必須入力する。

[14] 事故税関通知識別コード（「通知識別」欄）

事故貨物がある場合は、次の区分に応じたコードを入力する。

なお、「バース」欄に入力した場合は、入力不可。

区 分	コード
税関へ通知を要する場合	Z
税関へ通知を要しない場合	M

※ [15] の項目は、最大 5 欄まで繰り返し入力することができる。

[15] 事故コード（「事故」欄）

「通知識別」欄に入力した場合は、その内容を事故種別コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

ロ 一括登録の方法

「船卸確認登録（一括）」業務（業務コード：PKI）を利用して、「船会社」欄に積荷目録情報に登録されている船会社コード（「業務コード集」参照）を必須入力し、次の項目については、前記イ（「船卸確認登録（個別）」業務（業務コード：PKK）を利用した登録方法）に準

じて入力し送信する。

なお、「船会社」欄は最大 20 欄まで繰り返し入力することができる。

- [1] 船卸開始年月日（「開始日時＊」欄左）
- [2] 船卸開始時刻（「開始日時＊」欄右）
- [3] 船卸終了年月日（「終了日時＊」欄左）
- [4] 船卸終了時刻（「終了日時＊」欄右）
- [5] 船舶コード（「船舶＊」欄）
- [6] 船卸港コード（「船卸港＊」欄左）
- [7] 船卸港枝番（「船卸港＊」欄右）
- [8] 船卸場所コード（「船卸場所」欄）
- [9] バースコード（「バース」欄）
- [10] 卸コンテナ情報登録併せ表示（「卸コン併せ表示＊」欄）
- [11] 時間外執務要請識別（「時間外執務要請識別」欄）

(2) 出力情報

前記(1)（船卸確認の登録方法）により船卸確認が登録された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
危険貨物等通知情報	SAS0010	税関へ通知を要する危険貨物等を船卸した場合。	税関 (保税担当部門)
事故貨物通知情報	SAS0021	「通知識別」欄に「Z」（税関へ通知を要する場合）を入力した場合。	
船卸確認終了情報	SAS0200	「船卸確認登録（一括）」業務（業務コード：PKI）を利用して全ての本船利用船会社の船卸確認を登録した場合。	税関 (監視担当部門) 登録者
搬入時自動起動取消通知情報	SAS0030	次の条件を全て満たす場合。 ① 「通知識別」欄に「Z」（税関へ通知を要する場合）を入力した。 ② 貨物を船卸しする際の自動起動する旨が取消しされている。	搬入時自動起動に係る申告等を登録した者
卸コンテナリスト提出情報	SAS0221	「卸コン併せ表示＊」欄に「Y」（卸コンテナリストを併せて行う場合）を入力した場合。	税関 (保税担当部門) 船会社
卸コンテナ輸入許可通知情報	SAS0211	「卸コン併せ表示＊」欄に「Y」（卸コンテナリストを併せて行う場合）を入力した場合。	登録者

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
時間外執務要請 確認情報	C A B 0 0 3 0	次の条件を全て満たす場合。 ① 「時間外執務要請識別」欄に「B」（時間外執務要請届の提出を併せて行う場合）を入力した。 ② 「卸コン併せ表示*」欄に「Y」（卸コンテナリストを併せて行う場合）を入力した。	税関 (保税担当部門)
エラー通知情報 (船卸情報)	S A S 0 1 9 0	なし。	登録者
エラー通知情報 (卸コンテナ情報)	S A S 0 2 3 0	卸コンテナ情報にシステムに登録されないコンテナがある等の入力条件に合致しないコンテナが存在する。	

(3) エラー通知情報（船卸情報）が出力された場合の処理

「エラー通知情報（船卸情報）」（出力情報コード：S A S 0 1 9 0）にコンテナ番号が出力された場合は、積荷目録情報の登録内容を確認の上、改めて船卸確認の登録を行う。